

中部電力パワーグリッド株式会社 岡崎支社

「電力の安定供給」と 「電力供給設備の有効活用」



中部電力パワーグリッドは、中部電力株式会社が2020年に分社化して誕生した会社です。グループ経営管理や再生可能エネルギー発電事業、原子力発電事業は持株会社である中部電力、小売事業は中部電力ミライズが担い、中部電力パワーグリッドは送配電事業を担っています。いつでも安心して電力を使えるよう24時間365日電力の保安管理に努めることが一番の使命。わたしたちが当たり前のように毎日安心して電気を使えるのは中部電力パワーグリッドのおかげです。

広域停電防止のため、特に注意が必要なリスク要因はなんとカラスの巣。カラスが電柱に巣を作ると広域停電の発生原因になる可能性があるのだそう。また、電線と樹木が接触しても停電に繋がる可能性があるため日々巡視して見守っています。しかし、電柱は約40mに1本の間隔で立っており、全ての電柱を毎日見るのは物理的に難しく、地域の方の情報提供も重要な要素となっているといいます。街中だけでなく岡崎市の豊かで広大な森の中でも、中部電力パワーグリッドの方の巡視業務に遭遇することがあり、地元では身近な存在として親しみを持たれています。



中部電力パワーグリッド株式会社 岡崎支社

「電力の安定供給」と「電力供給設備の有効活用」

「電力の安定供給」のために重要なもう一つの要素は、「電力の需要と供給の量を常に一致した状態に保つ」こと。電力の性質上、一致していないと電力の供給を正常に行うことができなくなり、広域の停電に繋がるそうです。ここ数年の再生可能エネルギーの普及により電力の「供給量」が「需要量」を上回ってしまう瞬間もあるそう。その場合は再生可能エネルギーの発電を制限することもあるようです。せっかくクリーンな電力が発電できるのにもったいないですよね。対策として蓄電・蓄熱機器で「供給」のタイミングをずらし、自家消費すること。みなさんも検討してみてはいかがでしょうか。

「つくる責任つかう責任」としては、電力供給設備の有効活用にも注力しています。例えば、「みまもりポール」というサービスでは、既存の電柱に防犯カメラを設置することでポールの設置コストや手続きの煩雑さを解消し、地域資源の有効活用、地域の防犯強化を図っています。同様に、鉄塔でも「鉄塔等設備貸出サービス」にてスペースを貸し出すなど、社会全体の資源抑制につなげています。

中部電力パワーグリッドの「電力の安定供給」と「電力供給設備の有効活用」の取り組みは、SDGsの7番目「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や12番目「つくる責任つかう責任」に直結しています。今日からできるSDGs、カラスが電柱に巣を作りかけているのを見つけたら、ぜひ中部電力パワーグリッドに連絡してくださいね。



まだまだ
SDGs



停電防止のために伐採した樹木を、東公園動物園に提供しゾウの餌にする取り組みも進めています。焼却処分すればゴミとして環境負荷が生じますが、動物園に提供することで豊かなまちづくりに役立っています。



停電情報お知らせサービス

「電力の安定供給」のために、万が一広域停電が発生した場合にも備えて、早期復旧と情報発信に力を入れるべく、情報提供アプリやHPを通じての情報発信を強化し、より多くの人に届ける取り組みも進めています。

https://teiden.powergrid.chuden.co.jp/pr/index.html?cid=ul_bn2



中部電力パワーグリッド

中部電力パワーグリッド株式会社 岡崎支社

岡崎市戸崎町字大道東7番地

<https://powergrid.chuden.co.jp/>